

## 第5回「山の日」記念全国大会実行委員会設立趣意書

日本は国土の7割近くを山林が占める山の国です。私たち日本人は、古くから山に畏敬の念を抱き、森林の恵みに感謝し、自然とともに生きてきました。山の恵みは清流を生み、田畑を潤して我が国を囲む海へと流れ、深く日常生活とかかわりながら、豊かな心をも育んできました。

この山の恵みに感謝するとともに、美しく豊かな自然を守り、次の世代に引き継ぐため、2016年8月11日より国民の祝日「山の日」が制定されたところです。

このような中、2020年に、第5回「山の日」記念全国大会が、大分県の九重町と竹田市に広がるくじゅう連山で開催されることとなりました。

本県は、九州本島の北東部に位置し、九州本土最高峰のくじゅう連山をはじめ、急峻な山々の祖母傾山系など九州を代表する山岳に囲まれています。その中でもくじゅう連山は、「阿蘇くじゅう国立公園」に位置し、登山初心者をはじめ、子どもから大人まで多くの人々に親しまれています。山裾には最大の魅力である広大な草原が広がっています。千年以上にわたり地域の人々によって続けられている野焼き、放牧、採草といった営みにより、広大な草原景観が維持されており、歴史的産物と言っても過言ではありません。

さらに、草原のまま維持されていることから、希少種が多く残されており、重要な生息地となっています。窪地が多く、豊富な湧水や雨水によって多数の湿原が発達しており、平成17年11月には「くじゅう坊ガツル・タデ原湿原」として、ラムサール条約湿地に登録され、国際的にも貴重な湿地であると認められたところです。また、ピンク色の絨毯のように咲き誇るミヤマキリシマの姿は、多くの登山客や観光客の心を捉えています。

このように多様な山岳に囲まれた本県では、温泉資源も豊富であり、源泉数・湧出量とともに、地熱発電においても日本一を誇っています。まさに大分の温泉は大分の山が育む恵みの賜です。

本県では、山の魅力とともに、山を支える人々の営みや山が育む恵みなどを全国に広く情報発信し、「おおいたらしさ」を感じることができる大会にしていきます。

山の恩恵に感謝し、山が育む豊かな自然を将来の世代へ継承していくために、関係機関や団体等幅広い皆様の力を集結し、ここに第5回「山の日」記念全国大会実行委員会（仮称）を設立します。

令和元年9月12日